

## ●基本目標2 元気とおいしいまち(その1)

【産業創出・企業立地・農林業・観光・衛生環境など】

### 港湾利活用地域振興基金事業 4,203.2万円

(担当：環境産業部 商工港湾課)

リサイクルポート能代港の利活用を促進するため、基金（貯金）を設けて各種事業を行うことにしています。

今年度は、シンポジウムの開催や企業訪問などのほか、能代港の循環資源取扱施設の整備に対して補助します。

#### 主な経費

- 能代港循環資源取扱支援施設整備補助金 4,000万円
- シンポジウム開催・企業訪問等費用 203.2万円

#### 財源

- 市の負担額 4,203.2万円  
(うち貯金の取り崩し 4,203.2万円)



(県ホームページから)

### バイオマスタウン構想推進事業 237.3万円

(担当：環境産業部 環境企画課)

地域のバイオマス（動植物から生まれた再生可能な有機性資源。家畜排せつ物や生ごみ、木くず、稲わら、もみ殻など）を利用した新たな環境関連産業を創出するため、バイオマス事業推進協議会を設置して事業化の検討を行うほか、農業残さやもみ殻、木質バイオマスの利活用に関する調査研究を行います。

また、廃食用油の回収を試験的に行っています。

#### 主な経費

- 調査研究委託 175万円
- 廃食用油回収費用 21.4万円
- 協議会委員謝礼等 40.9万円

#### 財源

- 市の負担額 237.3万円



### 中小企業融資あっせん等事業 4億210.3万円

(担当：環境産業部 商工港湾課)

中小企業の事業資金を低利で貸し付けします。また、保証料については、全額市が負担します。

融資限度額をこれまでの1,000万円から1,250万円に引き上げ、資金繰りの支援を強化しました。

また、新たに小規模企業への利子補てん（貸付利率の1/2）を行っています。

※融資窓口は市内金融機関です。市は制度運用資金の一部を金融機関に預け入れしています。

#### 主な経費

- 預入金 3億8,000万円
- 貸付金の保証料 1,817.5万円
- 貸付金の利子補てん 387.1万円
- 事業に係る事務費 5.7万円

#### 財源

- 預入金の返済額 3億8,000万円
- 市の負担額 2,210.3万円

### 中小企業緊急雇用安定助成事業 3,374万円

(担当：環境産業部 商工港湾課)

中小企業の事業主が、国の制度を利用して従業員に休業手当を支給した場合、事業主負担の1/4を助成します。

#### 主な経費

- 助成金 3,374万円

#### 財源

- 市の負担額 3,374万円

### 緊急雇用創出事業

4,248万円

(担当：環境産業部 商工港湾課)

県の補助制度を活用して、緊急対策として必要な雇用を確保します。

今年度は、松くい虫被害木の処理、福祉施設の環境整備、財産台帳の整備、公園の維持管理、旧金男の施設管理などのため、25人を雇用します。

#### 主な経費

- 緊急雇用の費用 4,248万円

#### 財源

- 県の補助額 4,239.9万円
- 保険料本人負担分の戻し 8.1万円

### “今こそチャレンジ” 農業夢プラン応援事業 (担当：環境産業部 農林水産課) 3,000万円

認定農業者や集落営農組織を対象に、規模拡大や複合経営への転換などに取り組む農業者の農業機械・設備の導入に対して補助します。

対象費用の1/3を県が補助し、1/10を市が補助します。

#### 主な経費

- 補助金 3,000万円

#### 財源

- 県の補助額 2,308.2万円
- 市の負担額 691.8万円

### がんばる農業者総合支援対策事業 428万円 (担当：環境産業部 農林水産課)

農業後継者や新規就農者などで、認定農業者をめざす農業者や、有機栽培・減農薬等栽培、無人ヘリ講習に取り組む農業者に、県の制度とは別に市が補助します。

“今こそチャレンジ” 農業夢プラン応援事業で対象にならない農業者の農業機械・設備の導入費の3/10、有機栽培等の認証経費の1/2、無人ヘリ講習経費の1/3を補助します。

#### 主な経費

- 補助金 428万円

#### 財源

- 市の負担額 428万円



### シニアパワー営農支援事業 5万円 (担当：環境産業部 農林水産課)

遊休農地の有効活用と健康づくりを図るため、新たに高齢者による野菜づくりを支援します。

市の農業技術センターなどを活用します。

#### 主な経費

- 材料費 5万円

#### 財源

- 市の負担額 5万円

### 空き家・空き農地情報化事業 7.5万円 (担当：環境産業部 農林水産課)

農村部への定住促進を図るため、新たに空き家・空き農地の情報をホームページに掲載します。

#### 主な経費

- 情報収集等費用 7.5万円

#### 財源

- 市の負担額 7.5万円

### 鳥獣被害(農作物)防止対策事業 210万円 (担当：環境産業部 農林水産課)

ニホンザルによる農作物の被害を防止するため、サル被害対策地域協議会を設立し、新たに活動のための貸し付けと補助を行います。

協議会では、サルのオリ捕獲による奥山放獣や追い上げを行います。

#### 主な経費

- 貸付金 200万円
- 補助金 10万円

#### 財源

- 貸付金の返済 200万円
- 市の負担額 10万円

## ●基本目標2 元気とるおいのまち(その2)

【産業創出・企業立地・農林業・観光・衛生環境など】

### 県営ため池等整備事業（県事業負担金）

（担当：環境産業部 農林水産課）

603.8万円

県では、老朽化が進むため池の改修を進めています。

市では、小友沼地区と矢崎地区の整備費の一部を負担します。

#### 主な経費

- 小友沼地区整備のための負担金 78.8万円
- 矢崎地区整備のための負担金 525万円

#### 財源

- 市の負担額 603.8万円  
（うち市の借金 590万円）



小友沼

### 県営ほ場整備事業（県事業負担金）

（担当：環境産業部 農林水産課）

2,635万円

県では、農地集積を進めるため、ほ場の整備を進めています。

市では、常盤本郷地区と富根地区の整備費の一部を負担します。

#### 主な経費

- 常盤本郷地区整備のための負担金 1,700万円
- 富根地区整備のための負担金 935万円

#### 財源

- 市の負担額 2,635万円  
（うち市の借金 1,610万円）

### 木のまちづくり推進事業

500万円

（担当：環境産業部 木材振興課）

秋田スギへの理解を深め、地場産材の需要拡大を図るため、住宅の新築・増改築などに秋田スギを利用した場合に補助を行っています。

外壁・外扉は1戸あたり20万円を上限に、内装は1戸あたり10万円を上限に補助します。

#### 主な経費

- 補助金 500万円

#### 財源

- 市の負担額 500万円



### 松くい虫対策事業

2,411.7万円

（担当：環境産業部 農林水産課）

松林を保護するため、国・県と協力して松くい虫対策を行っています。

市では、檜山地区の薬剤散布を行うほか、小友地区、竹生地区などの現況調査を行い、被害地区における伐倒駆除を行います。

#### 主な経費

- 伐倒駆除委託 1,760.9万円
- 現況調査委託 519.8万円
- 薬剤散布委託 63万円
- 事業に係る事務費等 68万円

#### 財源

- 国・県の補助額 1,403.5万円
- 市の負担額 1,008.2万円

### 松くい虫対策市民活動支援事業 210.4万円

（担当：環境産業部 農林水産課）

個人の庭木などの松くい虫被害木の搬出処理を行います。

#### 主な経費

- 被害木搬出処分委託 206.3万円
- 事業に係る事務費等 4.1万円

#### 財源

- 市の負担額 210.4万円

**空き店舗流動化支援補助事業 429.3万円**

(担当：環境産業部 商工港湾課)

空き店舗の利活用を促進し、その流動化を図るため、空き店舗の取得者や賃貸者への助成を、次のように行っています。

## ①空き店舗の取得に関する助成

取得物件の店舗部分の固定資産税相当額（上限5万円）と登録免許税相当額（上限20万円）

## ②空き店舗の改装に関する助成

改装費の1/2（上限100万円）

## ③空き店舗を開業者へ賃貸する方に関する助成

賃貸物件の店舗部分の固定資産税相当額（上限5万円×2年間）

**主な経費**

- 補助金 429.3万円

**財源**

- 市の負担額 429.3万円



この制度を使って  
開業した店舗

**グリーンツーリズム推進事業 50万円**

(担当：企画部 市民活力推進課)

農村地域の活性化を図るため、能代いなか体験推進協議会を設立し、新たに農家民泊による教育旅行の受け入れに取り組みます。

**主な経費**

- 協議会への補助金 50万円

**財源**

- 市の負担額 50万円

**体験型観光推進事業 49.9万円**

(担当：環境産業部 観光振興課)

体験型の観光を推進するため、パンフレットの作成や誘致活動などを行います。

**主な経費**

- パンフレット印刷費 33.6万円
- 誘致活動等旅費 16.3万円

**財源**

- 市の負担額 49.9万円

**ごみ収集運搬・処理事業 6億8,851.8万円**

(担当：環境産業部 環境衛生課)

ごみの収集運搬と処理を行います。

ごみは、燃えるごみ、資源ごみ（容器包装プラスチック、缶類、ビン類、紙類、乾電池、ペットボトル）、燃えないごみ、粗大ごみごとに、できるだけ資源ごみにできるよう分別をお願いしています。

また、ごみ処理は能代山本地域の市町で構成する能代山本広域市町村圏組合で行っており、この組合に経費を負担しています。

**主な経費**

- 処理負担金 5億1,947万円
- 収集運搬費用 1億6,904.8万円

**財源**

- 市指定袋の販売収入 8,254.5万円
- その他 20.8万円
- 市の負担額 6億576.5万円

**モア・リサイクルプラン推進事業 108.5万円**

(担当：環境産業部 環境衛生課)

リサイクルを推進するため、資源回収団体の育成やごみ分別の啓発、また不法投棄対策などを行っています。

**主な経費**

- 資源回収団体への謝礼 36.8万円
- ごみ分別ポスター印刷費 9.5万円
- クリーンアップ用具購入 2.5万円
- 不法投棄防止看板作成等 59.7万円

**財源**

- 資源ごみの売払収入 108.5万円

